

「笑顔の輪プロジェクト」

東北被災地ボランティアツアー報告

実施日程 2013年6月21日(金) ～ 23日(日)

場所 宮城県石巻市 牡鹿半島の小浜浜

参加者 福井県民 32名 東京都 1名 計 33名

主催：福井県市民活動団体「未来ビレッジJAPAN」 協賛：ふくい県民生協

協力：福井県園芸畜産課 ・ 北陸EM普及協会 ・ 福井県民の皆様

今回のボランティア活動は、石巻市小浜浜の仮設住宅にて「プランター菜園づくり」の講習会を開催しました。また、古民家再生プロジェクトに参加し被災した民家をカフェに改装するお手伝いをしました。いつもは金曜の夜出発し、土日に活動をして、月曜日の夜に福井に到着というスケジュールですが、今回は一日少ない日程でした。しかし、内容の濃い、充実した活動ができたと感じています。

未来ビレッジJAPANでは3年前より「簡単農法で、安全、安心な野菜づくり」をしたいと、福井県旧美山町の畑「みんなでファーム」でエコ菜園を実践しています。

エコ菜園は、耕さない・無化学肥料・無農薬の自然農法です。プロのJAS認定農家でいらっしゃる樋口正夫（ひぐちまさお）先生にご指導いただき、年10回以上のエコ菜園講習会を開催しながら、みんなで学びながら野菜作りを楽しんでいます。先生は、敦賀市で25年前から不耕起栽培やボカシ等の自然農法で、自給率98%を達成されています。福井県内を始め全国各地で講演されている先生です。

今回のツアーでは、玄関先に設置できるサイズのプランターで野菜作りができる「プランター菜園づくり」の講習会を石巻市 牡鹿半島の小浜浜にある仮設住宅の集会場で開催しました。樋口正夫先生に、「安全・安心な野菜作り」についての講義を行って頂いた後、プランターにナス・トマト・きゅうりなどの苗をえらんで頂き、一緒にプランター作りをして、各ご家庭までお届けしました。



最初は参加者のみなさんの表情が硬かったのですが、樋口先生のユーモアたっぷりの畑づくりの話にみなさん引き込まれていました。震災前は自分の畑で野菜作りをしていた方もいるようで、どんどん質問が飛び出します。最後は笑顔いっぱいとなったことがとても印象的でした。

野菜苗と一緒にマリーゴールドの苗も植えました。見た目にも明るく、可愛らしい上に、虫よけの効果も期待できる花です。

野菜×お花という、なんともかわいいカラフルなプランターになりました。

- ※ キュウリ・トマトの苗は福井県園芸畜産課より提供頂きました。
- ※ 資材の一部をEM普及協会からご支援頂きました



プランターを仮設住宅の各ご家庭にお持ちしたときも、プランターをならべてすでに野菜をつくっているお宅がいくつかあり、「うちの夫がピーマンが好きだから育てているの。」など野菜がきっかけで話がはずみました。これからすくすくと育って、みなさんの栄養になるだけでなく、コミュニケーションツールとしての役割も果たしてくれることが想像でき、良い活動になったと感じました。

F a c e b o o kを通じて、「あの時のプランターの野菜が実っているよ。」と、うれしい報告をいただきました。夏野菜が終われば、秋野菜…とこれからも継続していける支援のカタチに育っていきそうな、うれしい予感です。

その日の夜は、以前からボランティアツアーの際に寝泊まりさせていただいていた小湊浜の民宿「あたご荘」がリニューアルオープンしたということで、お祝いもかねて全員で宿泊させていただきました。震災後のあたご荘しか知らなかったのも、とてもきれいに変身した姿に感動を覚えました……。



2011年10月頃のあたご荘

震災後のあたご荘は、1階は柱のみが残っている状態。水道も電気もありませんでした。当時のボランティア活動時は、この2階に宿泊させていただいていました。

↓↓リニューアル後↓↓



上の写真と同じ建物と思えないくらいカッコよくなったあたご荘です！お祝いに贈らせていただいたあたご荘と書かれた大漁旗が元気にはためいております。

あたご荘の窓からは一面きれいな海が広がっています。すぐ近くには網地島というきれいな砂浜もあります。ぜひ観光にきてほしいと、ご主人がおっしゃっていました。

2日目は午前中のみ活動し、午後は福井へ向けて出発します。

主に石巻市で活動をしている一般社団法人OPEN JAPANの「古民家再生 IBUKI プロジェクト」の活動に参加しました。

津波の被害にあった建物を取り壊すのではなく、残したいというみんなの想いがこのプロジェクトを生んだそうです。今回活動させていただいたのは、築80年の古民家です。修復がすすめられて外観からは由緒正しい古民家という印象ですが中に入ると2階の天井に届きそうなところまで津波がきた跡が残されていました。この古民家は牡鹿半島の復興拠点として、地元の食材をふんだんに使った安心、安全の食事を提供するスペースに生まれ変わり、10月オープン予定とのことでした。

今回、私達は、廃材・ガレキの運び出し、庭の除草を担当しました。



壁の色が変わっているところまで
津波がきていたとのこと。はるか
頭の上です。



←これから、この廃材の山を外
側へ運び出します。人海戦術
ですが、みんなでやると早い
早い！



←午前中だけの活動でしたが、
すっかり！廃材の山が無く
なりました。みんなでチカ
ラを合わせることのすごさ
を改めて実感しました。

みなさんが集う、ステキな
場所に一步近づくお手伝い
ができて良かったです。い
い汗かきました！



除草作業頑張った結果、お庭もきれいになりました。



今回活動した古民家の前には美しい空と海が広がっていました。

前回の2012年9月のボランティアツアーから約10ヵ月が経過していました。

被災地への関心は薄れ、現在も仮設で暮らしている方がいる、苦しんでいる方がいるということ意識する事もすっかりなくなっていました。たまに、ニュースで見ると思いだすくらいになってしまっています。

しかし、実際に現地へ行ってみると、できることがたくさんある、やらなくちゃいけないことがまだまだあると、身を持って実感できます。以前はボランティアであふれていた石巻市内も人の波が去ったという話も耳にしました。2年以上の時間が流れ、被災地へのボランティアツアーはあまり開催されていない現状で、今回、県民生協様のご協力のもと、ツアーを開催できたことに心から感謝します。このようなツアーがより多くの市民団体や公共団体、市、県で開催され、多くの方が身を持って、見て感じる機会を得ることが出来ることを願います。

今回のツアーでは、被災地の方の「ぜひ観光できてほしい。」という声が印象に残っています。被災地に行くと、どうしても震災の事ばかりになってしまいます。実際、まだまだたくさんのボランティアが

必要ですし、何十年も復興は続いていくと思います。しかし、被災地の方は今度は観光で来てもらって、ここで楽しい思い出を残して行って欲しいと願っているのだと感じました。

被災地復興に頑張っている方をみていると、「被災地」や「被災地の方」といった呼び方をすることが申し訳ない気持ちになります。なにか他の言い方ができないかなと考えたりしています。

小浜も被災地ですが、立派な「観光地」に変化しています。

未来にむかって、なにかできるのか？

このツアーをきっかけにそう考えて、行動する方の輪がどんどんと広がっていくことを願います。

みんなで一緒に考えて、動いていきましょう！

未来ビレッジ JAPAN

<http://fmvn.org/>



お世話になったあたご荘の前で全員集合！